

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

住民合意の公共施設再配置計画を

3月22日第2回公共施設再配置検討委員会(10名の委員)があり、内田議員が傍聴しました。南知多町の公共施設の再配置計画は、今後2050年の町の推定人口(約7500人)をふまへ、公共施設のあり方を住民とともに考えるものです。その中で、A・B・Cの再配置案とロードマップの提示がありました。町のホームページにも掲載されていますが、一部紹介します。

公共施設89施設の機能評価廃止・縮小

- 廃止 6施設 縮小 46施設
機能評価で廃止するものは
○南知多町公民館(豊浜) ○大井公民館
○師崎公民館 ○日間賀島公民館
○南知多町民会館 ○内海野外劇場

みさき・豊浜・内海小学校の統合計画案も!

今回は、6月から始まる地区別説明会に向けて、事務局が考えた89の公共施設のあり方の原案が示されました。そして、2050年までの具体的な再配置計画のA案、B案、C案が示されました。それぞれに廃止と継続・縮小・集約施設を明確にしています。驚いたことに、C案では、1中5小の教育委員会の方針が覆されて、小学校3校の廃止統合なるものも計画されています。(縮小・廃止・統合のC案は裏面参照)

おこなった代表者・地区別説明会 討議会で再配置計画策定

これまで、公共施設再配置検討委員会の事務局は、2022年8月に町民2000名のアンケート(回答642)を実施し、各団体(スポーツ推進委員、文化協会、PTA、保育所保護者会)と地域代表(区長、まちづくり協議会、自主防災会)のヒアリングをしました。



南知多中学校

10月2日町役場11名、5日日間賀島12名、6日篠島10名で地区別説明会・意見交換会が開かれました。その後2000名のアンケート送付者のうち参加希望者として、町民討議会を開き、2022



南知多町役場



川柳コーナー

役場支所も学校もなく住みにくい
町長は「日本一住みやすいまち」をずっと掲げている。高志は評価したいが、単なるお題目では意味がない。この間、地元のスパーがなくなり、学校も統合され、サービスセンターも公民館もなくなれば、ますます住みにくい町となる。公共施設の安易な廃止・縮小はしないほしい。

2年10月20日と2023年2月11日にわずか8人ずつの参加で、意見収集をしています。その後、役場の課長・係長・部長を中心とした再配置部局が、今回の再配置計画案A、B、C案を策定しました。議員に対しては、3月議会後、経過の説明会がありました。

6月から5カ所で地区別説明会

説明会に積極的に参加し 公共施設の存否について 意見を出していきましよう

6月から、より具体的な計画案の地区別説明会・意見交換会が今回も3カ所、役場本所・日間賀島・篠島で実施する計画でしたが、議員説明会で内田議員は、少なくとも内海・豊浜・師崎・日間賀島・篠島の5地区で実施することを求めました。その後、第2回の検討会議では、5地区で開くことになったと報告されました。今後、町当局には各地区でより多い住民参加の説明会にするための周知が求められています。

一方的に半分にしなさい!

町は、「行政サービスの質の向上」と「健全な財政の維持」を目的として、公共施設の計画的な再編・再配置を推進するため、「南知多町公共施設再配置計画」を策定していくとしています。また、策定にあたり地域住民等との具体的な再配置を検討する機会を設け、十分な合意形成を図りながら進めていくことも表明しています。

30年後に、公共施設の総量を50%削減することを目標とする公共施設再配置計画の策定では、柔軟な計画が求められます。常に見直しを取り入れた計画が必要です。硬直化したロードマップ計画では後戻りできません。

また、「暮らし続けられるまち」のため、町民自身も何を求め、どう行動するかが問われています。

